

# 防災ラジオドラマ

グループ名 「つくば市民大学「防災ラジオドラマをつくろう！チーム」」

タイトル 「私たちにできること」

## <主な登場人物>

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| ・はるか（つくば子ども劇場、小6、女）     | 和田萌さん   |
| ・なつき（つくば子ども劇場、小6、女）     | 早見茜さん   |
| ・あきな（つくば子ども劇場、小6、女）     | 浜渦和さん   |
| ・青野（子ども劇場、保護者の代表格、女）    | セリフ無し   |
| ・客（ちょいイケメン、男）           | 大塚恒夫さん  |
| ・市川（まつりつくば2012 実行委員長、男） | 柚山義人さん  |
| ・遠藤（聴覚障害者、女）            | セリフ無し   |
| ・ナレーション（はるか）            | 中村こももさん |

## <エキストラ>

- |                      |  |
|----------------------|--|
| ・つくば子ども劇場の子どもたち（男、女） |  |
| ・実行委員（男、女）           | 浜渦京子さん、江塚晶子さん、徳田太郎さん                                       |
| ・通行人（男、女）            | 石熊春江さん、大川裕紀子さん、瀬谷静枝さん、<br>寺田真里子さん、浜渦雄健さん、大塚恒夫さん、<br>小島直子さん |

## <演出>

赤松洋子さん

## <編集>

徳田東子さん

## <記録>

徳田太郎さん

## <舞台（場所）>

- ・まつりつくば2012 会場（中央公園）

## <ポイント>

- ・緊急時安全確保と連絡
- ・聴覚障害者への気づきと支援
- ・まつりつくばでの安全・防災体制の理解と提言

## <シーン1> 中央公園のテント(つくば子ども劇場のフリーマーケット)

- ・まつりの賑わいを表す効果音

ナレーション(はるかの声)

「2012年の夏。今日は、つくばの街が一年で一番賑やかになる、まつりつくばの日だ。私たち、つくば子ども劇場のメンバーは、毎年、手作り品のお店を出している。残り少ない夏休み、おもいっきり、楽しもおっと！」

なつき 「はい。おつりです。ありがとうございます！ これ、子ども劇場のパンフです。いろんな行事があるので、ご覧になってください。」

客 「どうもありがとう。」

あきな 「なつきちゃん、いまのおにいさん、いい感じだったね。」

なつき 「うん！ いい感じだった！ あきなちゃんもそう思った？ 思わずおまけしちゃったよ〜。」

あきな 「今日はずいぶんお客さん多かったね。でも、もうすぐねぶたパレードも始まるし、店じまいの準備をしようか。全部半額にして、大バーゲンにしちゃおうよ。」

はるか 「あ、お姉さん、そのブレスレット、気に入りました？ 手作りで、ひとつ100円です。」

ナレーション

「そのお姉さんは、私が話しかけてもなかなか気づいてくれなかった。ひょっとして、私の声が聞こえないのかな？ そう思って、わたしは値札の紙に太いペンで書いてみせた。」

はるか 「『100円から50円におまけしますよ』…っと。これでどうかな？」

ナレーション

「お姉さんはにっこり笑って、お金を払い、ブレスレットを身に付けてくれた。そして、ケータイでなにかをうって私に見せてくれた。」

はるか 「おまけしてくれてありがとう…か。あは、かわいい絵文字♪ そうだ、私もケータイで返そう。とてもすてきです。で、ピースサインの絵文字くっつけちゃおう。」

ナレーション

「私のケータイ画面を見て、お姉さんは、またにっこり。そして、2人でピースを交わした。」

- ・間

## <シーン2> 中央公園のテント(発災)

- ・まつりの賑わいを表す効果音

### ナレーション

「夜も更けてきた。二日間で44万人もの人があつまっただって。どこもかしこも人、人、人。友達とはぐれないように気をつけなきゃ。さあ、もうすぐねぶたパレードが始まる！」

- ・雑然とした中で、緊急地震速報のブザーが至る所のケータイ電話から鳴り響く

様々な悲鳴(同時に) 「えっ、…何? 地震?」

様々な悲鳴(同時に) 「キャー、危ない、う、しゃがんで! 離れて!」

なつき 「え? これ何? 地面がグラグラ揺れてる! 立ってられない!」

あきな 「地震だ!」

はるか 「怖い!」

- ・間(壮絶な様子の効果音)

### ナレーション

「どのくらい時間が経っただろう。すっかり夜になったけど、会場は明るいままだった。停電はしていないのかな。」

市川(スピーカー越しの声) 「こちらは、まつりつくば実行委員会です。ただいま強い地震が発生しました。余震が起こるかもしれません。あわてず、おちついて、会場係員の誘導に従って避難してください。会場は自家発電と投光器により、灯りは確保されています。冷静に行動してください。」

### 会場係員の声(拡声器)

「こちらは一方通行です」

「プラカードの矢印の方向に、ゆっくり進んでください」

「階段があります。押さないでください」

### 通行人らしき声

「怪我人です! 救護所は、救護所はどこ?」

「救護所はノバホールの東側!」

### <シーン3> 中央公園のテント(緊急時安全確保と応急手当と連絡の場面)

・サイレンの音

ナレーション

「まつりつくばでは、ブロックごとに責任者と誘導員がいる。誘導員の人たちは拡声器やプラカードで、参加者を避難通路や救護所へ誘導していた。もうあたりはまっくら。遠くから救急車や消防車のサイレンが聞こえる。不安でたまらないけど、会場は明るいままだったので、なんとか落ち着いていられた。」

市川（スピーカー越しの声） 「先ほどの地震は震度6強でした。周辺地域は停電が続いており、つくばエクスプレスも動いていません。これから、帰宅が困難な方、家族と連絡がとれなくて、ここにどまっておきたい方を、第2次避難所のカピオと吾妻小学校へ誘導します。会場責任者、誘導員の指示に従ってください。」

ナレーション

「私は、引率の青野さんや子ども劇場の仲間たちと一緒に行動していた。あれ？ あそこにいるのは、さっきの耳の聞こえないお姉さんだ。拡声器の音や場内放送が聞こえなくてすごく不安じゃないかな？ そうだ、さっきみたいにケータイの画面で教えてあげよう。」

はるか 「電車が止まっているそうです。帰れない方のために、カピオと吾妻小学校が避難所になっているそうです。」

ナレーション

「ケータイの画面を見せて、誘導員のプラカードを指さすと、お姉さんはうなずき、ゆっくり歩き始めた。」

## <シーン4> 数日が過ぎて

### ・朝、すずめのさえずり声

なつき 「はるかちゃん、あきなちゃん、おはよう。」

はるか 「おはよう。」

あきな 「おはよう。なつきちゃんのところ、もうお水出るようになった？」

なつき 「うん、水も電気も大丈夫。ガスはまだけど。」

はるか 「そうそう、昨日、あの耳の聞こえないお姉さんからメールが来たんだ。あきなちゃん、読んでみて」

あきな 「はるかちゃん、この前の地震のときは、ケータイ画面でいろいろ教えてくれてほんとうに助かりました。私はいま、アロマセラピーの勉強をしています。アロマの香りでみんなにリラックスしてもらうために、近所の避難所を訪ねています。あの夜、みんなに助けてもらった分、私もみんなを助けたいと思っています。また会いましょう。遠藤明子……そうか、お姉さんも頑張っているんだね。」

### ナレーション

「お姉さんへ。メール、どうもありがとう。私たちが今日からお母さんと一緒に避難所に読み聞かせにいきます。お互い大変だったけど、はげましあっていきましょう。」

なつき 「はるかちゃん、そういえば、夏休みの宿題、終わった？」

はるか 「宿題？ 忘れてた！」

### ・エンディング BGM